

マザー・テレサ／母なることの由来（1986）

MOTHER TERESA

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 83分
初公開日 1988/10/08
公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ提供／ジョイパック＝ギャガ・コミュニケーションズ
リバイバル 2007/09/15 [ナインマイルズ]

【解説】
ユーゴ出身のカトリック修道女で、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサ。彼女の10ヶ国での5年間に及ぶ献身的な活動と、その生い立ちから現在までの姿を追いかけたドキュメンタリー作品。ナレーションをR・アッテンボローが担当。46年9月10日、ダーズリンに向かう汽車の中で、神の声を聞いたマザー・テレサは、最も貧しい人たちの世話をする為に生きる事を誓う。48年、彼女は修道服を脱ぎサリーを纏い、インド・カルカッタのスラム街で貧しい人々の救済に身を捧げた。54年、彼女は、誰にも知られず、必要とされる事もなく惨めに死んで行く人々が、安らかな死期を迎えられる“死を待つ人の家”を開く。映画は淡々とマザー・テレサの生きざまを描いていく。カトリックに縁のない人間でも理解しやすい内容となっている。マザー・テレサの没後10周年となる2007年9月、＜マザー・テレサ・メモリアル＞において「ーデジタル復刻版ー」でのリバイバル上映が実現。

【クレジット】

監督	アン・ペトリ	Ann Petrie
	ジャネット・ペトリ	Jeanette Petrie
製作	アン・ペトリ	Ann Petrie
	ジャネット・ペトリ	Jeanette Petrie
撮影	エド・ラッハマン	Ed Lachman
	サンディ・シセル	Sandi Sissel
音楽	スザンヌ・シアーン	
ナレーション	リチャード・アッテンボロー	Richard Attenborough